

「共に考え、共に創る」 わがまち協働大賞 ～今年度のふりかえり～

募集・P R 活動

- 事例募集（6月、7月）
→11事例の応募
- 協賛募集
→14事業所からの協賛



報道機関への情報提供
市政広報番組「こんにちは市役所です」でのP R

審査

- ヒアリング（10月）
- 市民投票
市役所、コミセン、図書館、i・mart
インターネット
- 高校生による選考（12月）
滋賀学園高等学校ボランティア部4名で実施
- 最終選考（翌年1月）



ヒアリング結果などを踏まえて賞の決定！

わくわくこらぼ村について



表彰

2月22日 わくわくこらぼ村ステージにて

- ・大賞、優秀賞、入賞
- ・特別賞（市民応援賞）
- ・協働コーディネーター賞（2名）
- ・高校生が選ぶ協働大賞



上記の表彰式を行いました

表彰状授与：綾副委員長

大賞・優秀賞へのコメント：

小島（秋）委員、藤澤（彰）委員、中井委員

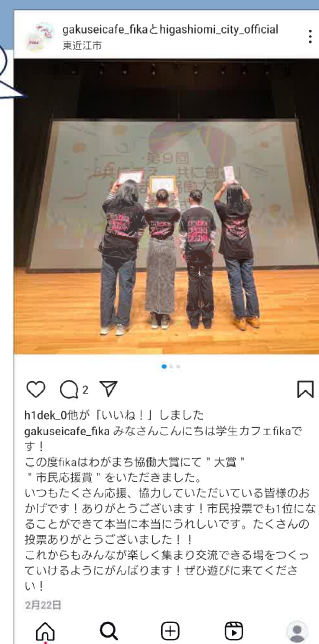


表彰

Instagramで取り上げて
くださいました！

<大賞>

FIKA「学生カフェFIKA」



表彰

< 優秀賞 >

- ・ 八日市高等学校 生徒会執行部
「市内飲食店とのコラボ出店（文化祭・体育祭）」
- ・ NPOこもれ日小田莉家
「こどもたちが安心して集まれる場所
あじさい食堂」
- ・ 八日市南高等学校 食品科 農産加工班
「幻の酒「百済寺樽」酒かすでつながる地域の輪」



まちづくり協議会とは

- ・ まちづくり協議会とは、いわゆる「地域自治組織」

地域の暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となって形成され、地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた地域経営の指針に基づき、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織

- ・ 「地域自治組織」がある市町村は、日本全国で 853 市区町村

⇒7,710 組織あり、令和 4 年度から 503 団体（7.0%増）増加。平成 28 年度から 2.5 倍に増加している。（※令和 5 年度。総務省ホームページ参照）

- ・ 全国的にも設置が進められている。

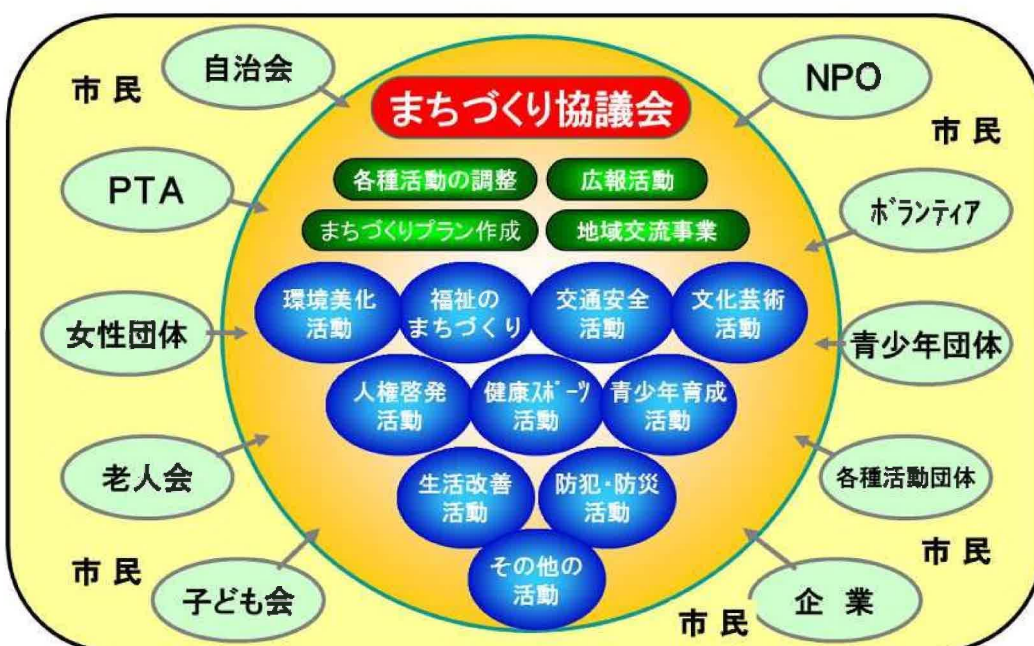
⇒背景の一つには、自治会（地縁組織）の衰退がある。

- ・ 東近江市内には 14 のまちづくり協議会がある。

⇒協働のまちづくり条例において、「協働の重要なパートナー」として位置づけ。条例による再認定（条例第 18 条）を行った。

市民主体のまちづくり自治システム

まちづくり協議会の概念



14 地区（旧市：8 地区、旧 6 町：6 地区）

旧市　：8 地区（小学校 7 校、中学校 3 校）

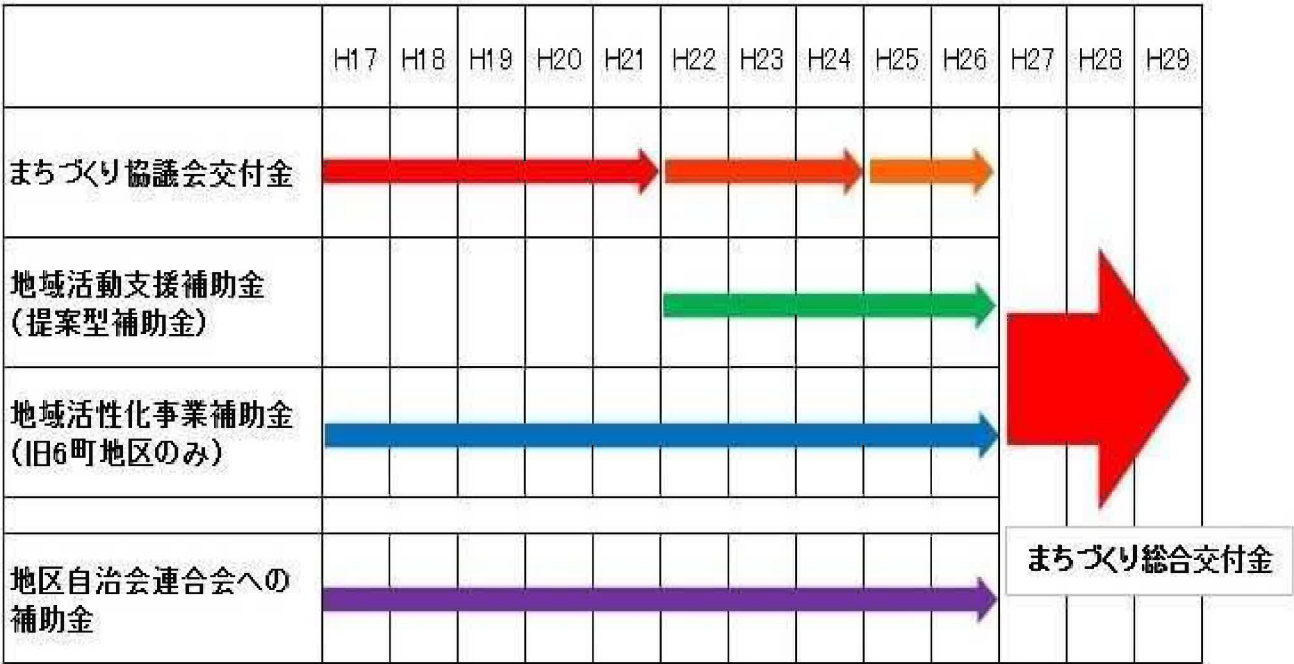
旧 6 町：6 地区（小学校 15 校、中学校 6 校）



東近江市におけるまちづくり協議会 誕生の経緯

- 1 市 6 町の合併
 - …各地区の個性や伝統が失われるのではないかという不安
 - 行政サービス低下を懸念する声
- 少子高齢社会の急激な進行
 - …人口減少、財政状況の悪化
- 地域コミュニティの希薄化
 - …自治会加入率の低下、各団体の衰退
- 地方分権の推進
 - …自分たちの地域は自分たちで

まちづくり総合交付金・・・財政的支援



- まちづくり協議会交付金・・・団体の運営、まちづくり計画に基づく事業
- 地域活動支援補助金・・・事業提案型の補助金
- 地域活性化事業補助金・・・合併前から引き継いだ旧町のイベントへの補助金

事業（業務）の具体的な推進について

1 住民自治の向上を図り、地域の多様な主体が協働してまちづくりを進めていくために必要となる市民活動の支援及び事業の推進に関する事業（業務）

- (1) 市民活動団体の自立・見直し・連携・育成に向けた支援、運営や事業実施に対する協力・助言に関すること。
- (2) コミュニティセンター所管課と協議・調整され、必要と認める市役所各部署からの依頼事務に基づく、地域と行政相互の連絡調整及び取りまとめ等に関すること。
- (3) その他、必要と認める事項

2 地域の生涯学習、地域福祉及びまちづくり活動の推進及び支援に関する事業（業務）

(1) 地域の生涯学習、地域福祉及びまちづくり活動の推進及び支援に関する事業を積極的に提案・実施すること。

ア 現代的・社会的課題に応えた講座・講演の企画・運営

主な内容：地域が抱える課題への対応や子どもを対象にした講座等

イ 地域住民の絆を醸成する事業の企画・運営

ウ 地域活動の推進や地域人材の発掘・育成につながる事業への参加及び実施

エ 地域福祉団体等との連携による事業への参加及び実施

※各事業は、生涯学習、地域福祉及びまちづくり活動についてバランスを配慮すること。

(2) 生涯学習、地域福祉及びまちづくり活動の推進のための施設の提供をすること。

ア 地域住民等の学習や活動のための施設の提供

イ 市民活動団体等の自主事業のための施設の提供

(3) 生涯学習、地域福祉及びまちづくり活動に関する情報の収集・発信を積極的に提案・実施すること。

3 コミュニティセンター管理運営の充実に向けた取組

(1) 職員の研修会への参加

研修会へ積極的に参加し、業務に関する知識や情報を習得する。

(2) 運営委員連絡会の開催

施設の運営や事業の企画、運営及びその実施に協力する運営委員連絡会を必要に応じて開催する。

(3) 中間支援組織との連携・活用による事業及び支援業務の実施

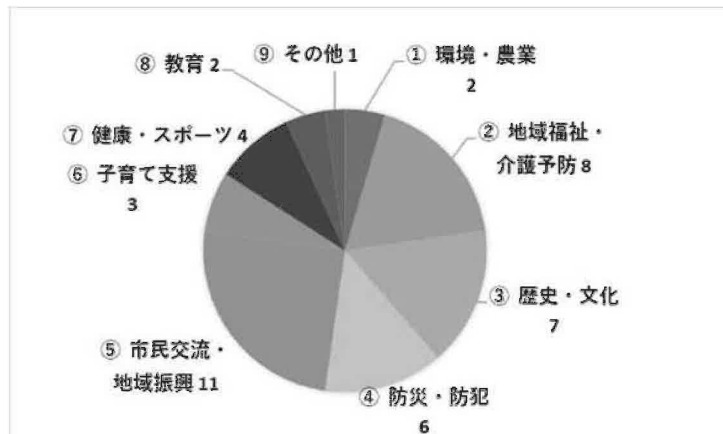
事業の企画、運営及びその実施において、必要に応じて中間支援組織を活用し、事業内容の多様化と情報発信の強化を行う。

Ⅲ まちづくり協議会について

※R4実施アンケート調査から抜粋

Q. 少子高齢化、人口減少社会が進行する中で、今後、それぞれの地域で課題解決し、地域の個性を生かしたまちづくりが求められています。そこで、まちづくり協議会の活動についてお尋ねします。

15 まちづくり協議会として、今後、活動を充実・強化していきたいのはどの分野ですか。当てはまるものを3つ以内で選んでください。その他を選んだ場合は、() 内に内容を記入してください。



16 まちづくり協議会や様々な市民活動団体では、多様な担い手づくりが共通の課題になっていると思いますが、貴地区では、これに対してどのように取り組まれていますか。

- ・部会活動の充実、**関連活動団体と連携・支援**、大津市和邇地区との連携・協力
- ・まち協役員（専門部部長含む）の高齢化に伴い、世代交代を図るための人材育成が喫緊の課題である。まち協運営組織の中の評議委員会は、各自治会の代表者（自治会長）で構成されており、**自治会長として1年間の活動を通じて、まちづくりに協力いただけそうな方をまちづくり委員に勧誘**している。また、地域の歴史文化活動を積極的に進めており、関心のある会員が増えている。
- ・高齢化・地域からの若年層離れの中、当地区でも課題となっている。**非営利21団体で構成している「みらい会議」で今年度のテーマを若者との接点づくりや後継者づくりを考えようと準備**している。

当まち協では、昨年度に役員が交替されたことを機会に、**一本釣り**にて直接連絡を取り、活動説明会を行ない、少しでも協力が得られる方には部会員になっていただいた。15 名弱の**新規部会員さんの影響で、各部会の会議や活動が活発**になった。

- ・少子高齢化と年金の支給年齢の引き上げ等で、この10年を通して担い手がほとんど変わることがないのは、どこも同様の悩みである。

これからは、**大きなイベントは極力、集約して他団体と協働することでマンパワーの効率化を図ることが重要**と考えるので、その方向で徐々に進めている。

- ・他団体・個人との協働。まち協運営の正メンバー（部会員）に入ってもらえなくても、**事業ごとのボランティアを積極的に募集・受け入れていく**。
- ・継続は力なりという言葉があるが、**反対に継続しすぎるから後継者が集まらないのでは**と考えている。**従前のものを壊して、新しい発想で事業に取り組めるようなことに着手**した。

17 コロナ禍を経て、貴地区で今後新たにどのような取組をお考えですか。

- ・ 新たな活動団体の育成、支援。他地区とのつながり交流促進
- ・ 事業において、従来の複数事業の合わせ技で「時代に叶ったイベント計画」や各種団体との「コラボ開催」で効率的なまちづくり活動に取り組む。
- ・ 自治会中心のイベントからボランティア中心の活動への変換
- ・ 近年、人口減、少子高齢化や地域社会の希薄化等でまち協事業やコミセン事業への参加者数が減少している。これは致し方ないことと判断し、今後は数を追うのではなく、参加された方の満足度向上に力を入れていきたい。
- ・ 令和5年度からは「地域住民が集い楽しんでもらえるイベント」や、地域福祉を考えるまちづくり座談会の開催等」積極的に事業展開を行っていくこととしている。
- ・ 100%とは言えないが、コロナ以前の事業やイベントに戻した上で、その内容について考えている。特に交流が制限されていた分、子どもたちや高齢者との接点活動を考えている。
- ・ 今年度は、スポーツ協会の「ふれあいウォーク」とまち協環境事業部の「ごみゼロウォーク」を同時開催して協働化を実施した。来年度は、「桜まつり」「ふれあい広場」「わくわく広場」を同時開催して一つのイベントに集約できればと思っている。
- ・ まち協の見直し、協働のあり方
- ・ コロナ禍以前は、「福祉」事業など対象は高齢者が中心だったが、子ども・若者や子育て世代も対象に含めた取組を拡充させていきたいと考えている。具体的には、子どもの居場所づくりや、多世代の交流の場づくり事業など。従来の「困りごと」への対策に加えて、「生きがい」「自己実現」など「幸せを感じられる地域」を目指した取組に力を入れていきたい。
- ・ 各自治会の事業でさえも3年間のブランクがあると 100%元には戻らない。元に戻すためにどうするかまち協にはそんなパワーはない。新しいことを始めるには、古いものを切っていくしかない。取捨選択のかじ取りをどうするかだけ。

今後の新たな取組

- 活動団体の育成支援や他地区との交流を促進
→「時代に叶ったイベント計画」や各種団体との「コラボ開催」
- 子どもや高齢者との接点活動
- 子ども・若者や子育て世代も対象に含めた取組を拡充
→従来の「困りごと」への対策に加えて、「生きがい」「自己実現」など「幸せを感じられる地域」をめざす
- 取捨選択のかじ取り

15 まちづくり協議会の活動を進めていく中で、困っていること、悩んでいることは何ですか。

- ・まちづくりへの住民参加の低下、従来の活動組織の衰退、若者世代の流出
- ・まち協役員（専門部部長含む）の高齢化に伴い、世代交代が喫緊の課題と考える。また、まち協の事務局長業務は大変な仕事量であり、全体の事務業務量や各専門部への協力依頼や調整など多忙である。現状のまちづくり交付金では、給与・手当の支払は難しく無給でお願いしている。
- ・中心的な役員が設立当初の方々と、高齢化が進み後継役員の確保に苦慮している。
- ・この10年、定年延長により70歳まで皆さんが働かれており、以前60歳で地域デビューされていた方々が地域の活動に参画されなくなっている。個人主義傾向も更に強まり、地域の活性化がうまくいかない。
- ・まちづくり協議会の活動に賛同・参画される方はそれなりにおられるが、その中で中心的役割を担ってくれる方が少ないことである。また、中心的役割を担っていただけそうな方は、既に他団体の会長等をやっておられる状況である。
- ・八日市地区まち協では、プロジェクトを中心に活動しており、まち協全体で課題解決に取り組むというような活動ができていない。
- ・人材の高齢化にともなう人材不足、またそのことにもよる組織の硬直化を防ぐため、柔軟なものの考え方の導入や人材の確保が必要である。しかし、なかなか新たな人材の発掘は難しい。
- ・成り手不足。高齢化。コミセン事業とまちづくり事業の一体化（効率的な運営）
- ・合併前は各町役員が行ってきたことなりを、合併後画一的にできないことから、各地域にまち協を設け、そこに任せることで市としては大幅なコストダウンに成功したと言える。まち協としても地域のためにと頑張ってきた。全くのボランティアで。各まち協の事業規模に差があるので、賛否はあると思うが、無給での活動に持続可能性があるか疑問を呈する。今後の後継者のためにも議論をしたい。

困っていること・悩んでいること

- 人材発掘と世代交代・後継者の育成
 - ・・・定年延長により地域デビューが高齢化
- ボランティア頼りの組織運営の限界
 - ・・・活動の持続可能性への疑問
- 事業の一体化による効率的な運営
- 住民参加の低下、従来の活動組織の衰退、若者世代の流出

【最近の取組事例】

防 災	・避難減災連絡会議を継続し、行動要支援者に対する個別計画の作成を全自治会で完了（市辺） ・減災かるたの出前授業（市辺） ・防災を考える会を開催（南部） ・中学校や自治連と共催し総合防災訓練を開催（五個荘） ・震災義援金活動（愛東） ・能登川東小学校区地域防災計画（水害編）の策定し地域防災力を向上（能登川） ・小学生を対象に防災教育を指導（能登川） ・AED講習会、普通救命講習会の開催（市辺・蒲生）
防犯・交通安全	・防犯ボランティアパトロール（青パト）による地域巡回の実施（玉緒・御園・湖東） ・子供見守り活動の一環として交通立番（建部・南部） ・愛犬家による地域パトロール（南部） ・新入生通学路ウォーク（湖東）
環 境	・河川清掃（ゴミ拾い、除草作業） - 愛知川左岸堤防のゴミ拾いの実施（建部） - 経田川の清掃活動（愛東） - ふるさと蒲生野川づくり（蒲生） ・リサイクル - 地域交流として「もろて一な市」（中野） - 南部ふれあいフリーマーケット（南部） - リサイクル品の回収（南部・永源寺・湖東） - 廃食油の回収（能登川） ・イベントにおけるゴミの持ち帰り運動の推進（玉緒） ・ごみゼロ運動大作戦の開催（永源寺） ・五個荘ごみゼロウォークの開催（五個荘） ・大型金属資源回収の受託（永源寺・五個荘・能登川・蒲生） ・地区学校施設の除草作業（永源寺） ・ダンボールコンポスト講習会の開催（五個荘・蒲生） ・あいとう花街道にプランターの設置（愛東） ・JR 能登川駅前に花を飾るフラ輪プロジェクト（能登川）

	・栗見プロジェクトで琵琶湖岸復活大作戦（能登川） ・ゴーヤカーテンの設置（蒲生）
地域福祉	・平田地区文化祭×あゆみふれあいフェスタの開催（平田） ・命のバトン普及事業 ・福祉サロンの開催 ・第二層協議体との連携 ・住民福祉懇談会の開催（玉緒） ・なかのよいまち大 en 会、なかの福祉のまちづくり座談会の開催（中野） ・毎月 7 日にほっとまちカフェの運営（南部） ・認知症・行方不明者早期発見保護訓練の実施（五個荘） ・高齢者の居場所づくりレコードカフェの開催（能登川） ・縁側カフェの開催（蒲生）
健 康	・健康教室・講座の開催（平田・御園・蒲生） ・健康手帳の発行（御園） ・グランドゴルフ大会の開催（市辺） ・健康・スポーツフェスティバル（玉緒・御園・八日市・永源寺） ・チャリティゴルフ大会の開催（建部） ・ニュースポーツを通じた高齢者の健康増進ヘルシースポーツクラブの立ち上げ（建部） ・元気のつどいの開催（能登川） ・能登川病院をよくなる会の活動支援（能登川）
子育て・若者	・まちのわ会議おしゃべり BBQ の開催（平田） ・つどいの広場（地域子育て支援拠点事業委託）の運営（平田） ・げんきっこ・ひらたの活動（平田） ・里山体験授業、里山保育の支援（玉緒） ・かきみその CIAO の実施、日本語学習支援マナビーみその開催（御園） ・農業体験（サツマイモ、ジャガイモの収穫）、ふれあい農園 ・親子キャンプ体験教室、親子お菓子教室（建部・湖東、建部・五個荘） ・スポーツレクレーションの開催（建部） ・子ども食堂、子どもカフェの開催 ・婚活支援

	・みなみっこがくしゅう会の開催（南部） ・わくわく来楽部活動（永源寺） ・北海道愛別町との交流活動で小学生の交流（愛東） ・中学生、高校生が運営する学生カフェ FIKA（愛東） ・夏休み子どもの居場所づくり（湖東・能登川） ・オペラ鑑賞に招待（能登川） ・若者の視点でアイデアの見える化を図るがもうミライプロジェクトの推進（蒲生）
地域のイベント	・水鉄砲合戦「世は戦国！雪野山夏の陣」（平田） ・蒲生野・万葉フェスタ、イチナリエ点灯（市辺） ・ハートフルコンサート（玉緒） ・秋まつり、サクラまつり（御園） ・河辺いきものの森で「建部里まつり」（建部） ・八日市コミセンフェスティバル、まち鉄プロジェクトで近江鉄道のガチャフェスに協賛（八日市） ・南部まつり、南部みんなの秋まつり（南部） ・みんなの夏休み、みんなのふるさと祭り（永源寺） ・てんびんの里ふれあい広場・桜まつり（五個荘） ・あいとう元気なまちづくりプロジェクト（春のパンまつり、お惣菜マルシェ、秋のパンまつり等）（愛東） ・あいとう夏まつり、あいとう秋フェスタ（愛東） ・コトナリエを20年間開催、湖東夏まつりことぼん（湖東） ・能登川ふれあいフェア、Lighting Bell in NOTOGAWA イルミネーション模擬店運営に参画、新春のつどい（能登川） ・蒲生あかね夏祭り、いきいきあかねフェスティバル、新年互礼会（蒲生）
地域活性化事業	・雪野山・瓶割山トレイルラン教室、蒲生野トレイル活用事業（平田） ・蒲生野万葉資料整備活動の取組（蒲生野万葉ロマンの会）（市辺） ・桜並木の整備、夜桜ライトアップ（玉緒） ・里山整備、大森城址の整備（玉緒） ・関係者のネットワーク構築を進め、地域ふれあい事業を実施（御園） ・瓦屋寺プロジェクトを立ち上げ、瓦屋禅寺の参道整備（建部） ・まちづくり活動支援制度の実施（建部）

	・毎月 7 日に円卓会議で話し合う場を開催（中野） ・50 年森を整備し、「ありがとう 50 年森フェスタ」を開催（中野） ・コミセン西広場を憩いの場として整備（中野） ・八日市ふるさと絵屏風を作成、活用（八日市） ・八日市南小学校芝生の維持管理活動（南部） ・まちづくりフォーラムの開催（永源寺） ・千草街道を往く、大本山永源寺ライトアップ（永源寺） ・中山道五個荘にぎわい事業委員会、東近江トレイル実行委員会で観光事業の促進（五個荘） ・まちのわ会議の開催で地域課題の整理（五個荘） ・映画のまちプロジェクトで映画「大逃亡」制作（愛東） ・三位一体（自治連・まち協・支所）によるまちづくり三者合同会議の開催（愛東） ・「あえるまち湖東」（湖東） ・自治会別の懇談まちカフェの呼び掛け（能登川） ・ガリ版伝承によるまちづくりの会開催（蒲生）
市の委託	・雪野山歴史公園等指定管理、平田体育館等指定管理、地域子育て支援拠点事業運営委託（平田） ・大型金属資源回収事業委託（永源寺・五個荘・蒲生） ・やわらぎホール施設管理運営、やわらぎの郷公園施設管理運営（能登川） ・ガリ版伝承館管理運営（蒲生）

事業の主体から地域のまちづくり活動等を支援する主体への移行促進

・・・「行事から事業型へ、イベントからサービスへ」

「行事や会議、組織の棚卸し」

・個別イベントを集約し、組み合わせる。

(子どもサマーフェスティバル＋秋のコミセンまつり＝八日市コミセンフェスティバル)

(ふれあいウォーク＋ごみ拾い＝ごみゼロウォーク)

(ふれあい広場＋桜まつり＝てんびんの里ふれあい広場・桜まつり)

・まちづくり協議会同士の連携・他団体との連携

(建部＋湖東＝はじめての親子キャンプ教室、建部＋五個荘＝はじめての親子お菓子教室)

(市辺＋蒲生＝蒲生野・万葉ロマンの会)

(里山保全活動の３団体＋健康推進団体＋五個荘＝東近江トレイル実行委員会でびわ湖東近江 SEA TO SUMMIT の支援)

・既存団体や新規活動グループへの支援、まちづくり活動支援制度の実施

・中学生議会からの提案を実現に向けた支援

(中学生、高校生が運営する学生カフェ FIKA)

 **若者の挑戦や新たな活動を地域（まち協）が応援・連携し、これからのまちづくり活動の担い手を育て、誰もが参加し住み続けたいと思える地域づくり**

建部地区まちづくり協議会活動報告2025

毎年行っている活動

1. 建部里まつりの開催
6月の第1日曜日に河辺いきものの森で里まつりを開催
2024年度の参加者は、約600名（市外からの参加もあり）
2. 環境美化事業への取り組み
 - ①植栽箇所およびポケットパークの草刈作業実施（年2回）
 - ②愛知川左岸堤防のごみ拾いを実施
 - ③遊休畑を活用しさつまいもを植えの実施
→秋には親子さつまいも掘り体験を開催しています。
3. 歴史文化事業への取り組み
 - ①昨年行った聖徳太子薨去1400年記念参画事業、瓦屋寺プロジェクト参道整備事業の事後整備実施（年2回）
 - ②歴史探訪実施
→紫式部ゆかりの地、石山寺と宇治平等院を訪ねました。
 - ③歴史講座
→「建部の歴史」の講座を開催しました。
4. 健康福祉事業への取り組み
 - ①子ども見守り活動実施
→毎月2回、4カ所で、交通立番を行っています。（4月～2月）
 - ②チャリティゴルフ大会を開催
→チャリティ募金を建部地区社会福祉協議会に寄附しました。
 - ③サロンスタッフ対象に健康体操講習会を開催
 - ④建部ふるさとウオーク開催
→「箕作山トレイルコース」のハイキングを実施しました。
5. 広報活動への取り組み
 - ①「建部だより」を毎月発行（コミセン発行）
→コミセン、まち協、各種団体の情報等を発信しています。
6. サマーフェスタ、スポーツレクリエーション祭、町民祭をコミセン実行委員会形式で参加(建部3大祭)
→町民祭は、まちづくり協議会が実行委員長へ選出されます。

新しくスタートした活動

建部の良さをPRするため、新たな広報誌「建部キラリ」を発行（4回／年、まちづくり協議会発行）

他のまちづくり協議会との連携を進める活動開始

- ① 湖東まちづくり協議会と共催で「はじめてのキャンプ体験教室」を開催（4回／年）
→会場は、湖東コミセン
- ② 五個荘まち協議会と共催で「はじめての親子お菓子教室」を開催（6回／年）
→会場は、建部コミセン3回・五個荘コミセン3回

2025年度は、湖東まちづくり協議会・愛東まちづくり協議会と3地区
合同イベントを開催予定（2025年5月10日）

まちづくり活動の裾野を拡げるための取り組み

①「まちづくりのために何かをやりたい」と思っている個人
やグループに対し、まちづくり協議会が人的および資金的
支援を行う「まちづくり活動支援制度」を令和4年度より
実施

→本年度は「ふたばの会」のスポン製作の支援を行いました。

②わくわくこらぼ村への参加

→スプラトゥーン大会

→事前交流会実施

→滋賀学園とコラボ開催

→年間行事の展示発表実施

③親子梨狩り・親子イチゴ狩りを青少年育成会とコラボ開催

建部地区内の建部幼稚園・八日市北小学校・滋賀学園高校・八日市高校
との連携を強化する活動を進めています。

「建部まちづくり協議会・建部コミュニティセンター」
公式LINEの登録者数拡大と活用を進めています。

→現在の登録者数は、約500名です。

→各種案内は、公式LINEを利用しています。

→申し込みは、Googleフォームとリンクしています。

例 親子梨狩りは、アナウンスより18分で定員

親子イチゴ狩りは、アナウンスより14分で定員

建部地区子ども会が休止の状況ですので、青少年育成会がサポートして
います。

→建部地区まちづくり協議会より青少年育成会推進委員を選出してい
ます。e-スポーツ大会を開催しました。

今後アプローチしたい活動(課題も含む)

① シニア世代、子育て世代へのイベント実施

② コミセンとの連携強化

③ 子育て世代・若い世代のまちづくりへの参加

→無償ボランティア活動から有償ボランティアへ

→参加者が前向きにまちづくりをできる組織へ

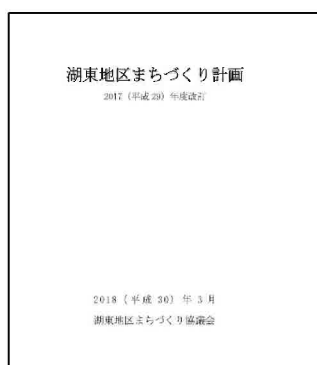
→まちづくりを身近に感じてもらえるアプローチ

→子どもたちが住み続けたい地区になるアプローチ

→子ども会に変わる任意組織設立へのアプローチ

湖東地区まちづくり協議会の取組（ごくごく一部）

- 2005 年 設立時の内部組織 ①企画部会 ②広報部会 ③福祉部会 ④環境部会 ⑤防災部会
 2014～18 年 第2次まちづくり計画作成
 2016 年 ⑥歴史文化プロジェクト ⑦まちカフェプロジェクト
 2017 年 「湖東地区防災ネットワーク」
 2018 年 ⑧子育て支援プロジェクト ⑨こどもいきいきプロジェクト ⑩福結びプロジェクト
 2019 年 ⑦まちカフェプロジェクト→福祉部会と合併
 2020 年 規約改正「新規事業条項」 青パト巡回 「いこいこ広場」
 ⑩音楽を聴こうプロジェクト 湖東の支え合いを考える会
 2021 年 湖東未来会議
 2022 年 ⑪映画製作プロジェクト 第3次まちづくり計画作成（～24 年）
 2023 年 「夏休みこどもの居場所づくり」 ⑨こどもいきいきプロジェクト→廃止
 2024 年 ⑪シェアサロンプロジェクト 建部まち協との合同事業（親子キャンプ他）
 「ことう夏まつり（ことぼん）」
 2025 年 ⑫アートプロジェクト
 （予定） 建部・愛東まち協との合同事業（まちこら）
 愛東まち協（あいのみ企画室）他との合同事業「ガチャコン4：純愛編」



公式キャラクター・ひばりくん



聖徳太子バージョン



赤レンジャイバージョン



「コトナリエ」キャラクター・ことなちゃん&りえちゃん



あえるまちキャラクター・ハナノキ妖精

オクタグラム

屍霊の迷宮

初めまして、マイコです。
オクタグラム完成試写会に
行ってきました!!!



監督・脚本のコジマさんは
普段とても優しくて面白い
お兄さんです。

↓コジマさん



いざ視聴
開始!!

コジマさんのキャ
ラ的に、ホラーと
言いつつコミカル
だろうな!

わくわく



←湖東コミセン
別館の事務所パ
ソコンで視聴。

視聴開始 約15分経過----

あっ、これ……

ホラー耐性ゼロ



意外と怖いやつ!!

正直舐めてました。

シンジくん……

↓ヒロインも「まいこ」ちゃん!!
ヒロイン♡ (ヒロイン感うすい
やどれヒロイン……)



アレが何かは 見ての
お楽しみ♡

※三角関係のような
配置していますが、ラ
ブロマンス♪要素は
まったくありません
(=w=)



最初のはそうでもないのに
何回もきいてると不気味に
感じる
ミッドロな音が
より怖さを……

清潔感のあるゾビ(?)
達……



→ゾンビ(?)の
こざれいさが
ちよっとおもしろい。

→見た目・動き・
音の相乗効果で
めっちゃ怖かった。



これ、子どもの時
めてたら夜中に
トイレ1人で
行けなくなるやつ!!



→怖がる演技うます
ぎてヤバかった!



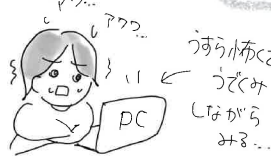
追真的演技!!!
すごい!!!

実際にシンジくん
COOLでシンジくん
はまった
イケメンでした。



→イケメンお兄ちゃん
たまに関西弁になる(笑)
と思つて余裕で見てた
ら……ぎやー!!!

うしろから
見守りつづける
こじまさん
(PCがめんに
ボーン! うっ! 可愛い)



●月●日 ●時～ ●●にて上映!!
ぜひお友達や家族と見に来てね!!!